

『ミケランジェロ プロジェクト』 原題: The Monuments Men



© 2013 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

↑

ハーバード大学附属美術館館長ストークス(ジョージ・クルーニー)が
メトロポリタン美術館学芸員グレンジャー(マット・デイモン)に美術品救出
作戦を持ちかける

映画批評

『ミケランジェロ プロジェクト』

— 戦火の中で美術品を取り戻した勇者たち

塚田三千代 (翻訳家・映画アナリスト)

©m.tsukada

第2次大戦終戦直前であった。ヒトラーが世界最大の総統美術館を創設しようとした野望のために、数万点もの貴重な美術品が敗戦地域から略奪されていた。オランダ、イタリア北部では教会の所有品だけでなくユダヤ人コレクターたちからも名品が収奪されていた。CAIからこの情報を得たハーバード大学附属美術館館長ストークス氏とメトロポリタン美術館学芸員グレンジャー氏が、中心となって美術品救出隊を結成して戦線に出た。終

戦直前に、ヒットラーの命令で焼却されてしまう前に美術品を取り戻すためであった。映画とは異なる余談だが、同時期の日本では京都・奈良の日本古美術の宝庫地が大戦の戦火や原爆投下を逃れられた事実がある。日本の場合はフェノロサと岡倉天心が明治時代に作成した古寺美術リストをその後の研究者たちのハーバード大学東洋美術史関係者がよく知っていたからである。



↑ ストークス(ジョージ・クルーニー)を中心に救出攻略を練る



↑ 取り戻した作品をユダヤ人宅へ返しに行く



↑ クレール・シモーヌ(ケイト・ブランシェット)から美術品の行先を知らされる



↑ シモーヌは美術品救出をグレンジャーに託して、緑の柄のネクタイを贈る



↑ 塩釜の奥に隠されたミケランジェロの彫刻<<聖母子>>の救出に向かう5人の勇者



戦場では、人の命が先か美術品守護が先かを問われる臨界状況に置かれるだろうが、平和な時代と場所においては、美術史系譜の中の秀逸作品、あるいは傑作と評価されている作品は人命に等しく貴重である。なぜなら長い歴史を越えて伝わる叡智や底深い文化、そして人間の在り方を教えてくれるからである。日本の環境は教会や西洋美術の恩恵から疎遠だが、触発されるものは同じである。

『ミケランジェロ・プロジェクト』は全世界へ向けて、‘ミケランジェロ・プロジェクト’の存在を伝える映画として、その意義はこの上なく大きい。なぜなら、第二次大戦のナチス史を知らない人にも、現在我々が美術館で鑑賞できる名画や彫刻の中には実は‘ミケランジェロ・プロジェクト’が救出した数々の作品を目でみて知るからである。そしてそれは、‘ミケランジェロ・プロジェクト’部隊を組織し、5人の隊員たちが銃弾の飛び交う戦場を潜り抜けて、美術史上傑作とされる作品群を隠された場所から探しだして救出するために、命をかけた任務を果たしたこと、美術品記録担当の女性学芸員の功績があったことを、本映画で初めて知るからである。

映画の構成については、ジョージ・クルーニー & マット・デイモンの『オーシャンズ 11』を連想してしまう構成になっている。別の構成はないの、といたいところだが、それは別としよう。『ミケランジェロ・プロジェクト』は日本人々にとって必見。ぜひお勧めしたい映画である。

©2015.10.15. m.tsukada. All Rights Reserved.

【映画情報】

ミケランジェロ プロジェクト 11月6日全国公開 TOHO シネマズシャンテ、他

配給:プレシディオ

©2013 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

監督:ジョージ・クルーニー、脚本:ジョージ・クルーニー、グラント・ヘスロヴ

原作:ロバート・M・エドゼル(英語版)ブレット・ウィッター 作

『ナチ略奪美術品を救え 特殊部隊「モニュメンツ・メン」の戦争』

製作:ジョージ・クルーニー、グラント・ヘスロヴ 製作総指揮:バーバラ・ホール(英語版)

2013年製作、アメリカ製作、プレシディオ配給、上映時間 118分、映倫区分 G

キャスト:

フランク・ストークス : ジョージ・クルーニー(ハーバード大学附属美術館の館長、「モニュメンツ・メン」のリーダー、モデルはジョージ・スタウト)。

ジェームズ・グレンジャー: マット・デイモン(メトロポリタン美術館のキュレーター、モデルはジェームズ・J・ロリマー)

クレール・シモーヌ : ケイト・ブランシェット(美術品の行方を知る女性。モデルはローズ・ヴァラン)

リチャード・キャンベル:ビル・マーレイ(建築家、モデルはロバート・ケリー・ポウジー)

ウォルター・ガーフィールド : ジョン・グッドマン(彫刻家、モデルはウォーカー・カークランド・ハンコック)

ドナルド・ジェフリーズ: ヒュー・ボネヴィル(イギリス人歴史家、モデルはロナルド・エドマンド・バルフォア)

プレストン・サヴィッツ : ボブ・バラバン(詩や現代美術に詳しい男、モデルはリンカーン・カーステイン)。

ジャン=クロード・クレルモン: ジャン・デュジャルダン(ユダヤ系フランス人美術商、モデルは不明)



↑ ポスター

ロゴ→

